

長崎1、4区

自民、民主 立候補予定者

済活性化―について、

4区の予定者が▽農林水産業▽教育―につい

日本青年会議所九州地区長崎

ブロック協議会が28日に長崎市で開く「政権『せんたく』公開討論会」に、次期衆院選の長崎1区と4区で争う自民、民主両党の立候補予定者の参加が決まった。政権を懸けた決戦を前に、年金や農林水産業などのテーマで政策論争を交わす。

1区は自民前職の富岡勉氏と

決戦

ながさき

09 衆院選

あす公開討論会

民主前職の高木義明氏、4区は自民前職の北村誠吾氏と民主元職の宮島大典氏が参加。立候補予定者同士が「直接対決」する機会は現在のところ、ほかに予定がなく、激しい議論になるこ

とも予想される。

最初に、政党や政治家として目指す国家像について4区の立候補予定者2人が述べる。その後、1区の立候補予定者が▽社会保障（年金）▽景気対策・経

長崎市民会館で

討論会は政策論争を通じて有権者に判断材料を提供するのが目的。昨年10月に続き2回目。午後7時～9時、長崎市魚の町の同市民会館文化ホールで開く。入場無料。問い合わせは諫早青年会議所（電0957・22・3773）。

政権「せんたく」公開討論会（日本青年会議所九州地区長崎ブロック協議会主催）が28日夜、長崎市内であり、次期衆院選の長崎1区と4区で争う自民、民主両党の立候補予定者が政策論争を繰り広げた。

政権「せんたく」公開討論

討論会は「景気対策・経済活性化」「教育」などのテーマごとに、立候補予定者が主張を述べた後、相手の党が掲げる政策に対して質問する形式。市民ら約300人が参加した。

「社会保障（年金）」のテーマでは、1区で争う民主前職の高木義明氏（63）と自民前職の富岡勉氏（61）が討論。高木氏は「消えた年金」問題を取り上げながら「現在の制度が信頼されていないのが一番の問題」と、政府与党の年金制度を批判。国民、厚生、共済の

1、4区の自、民
出馬予定者4人

3年金の一元化を主張した。これに対し、富岡氏は「年金制度発足時から、個人の負担割合など違いがあり、一元化しようとしてもできない部分がある」と反論した。

また富岡氏は高所得者に年金の一部を支給しない民主党の方針について「国民の理解は得られると思うか」と疑問を呈した。これに対し、高木氏は「社会全体で支えていく観点からすれば、理解してもらえると確信している」と譲らなかった。

「農林水産業」のテーマでは4区で争う自民前職の北村誠吾氏（62）と民主元職の宮島大典氏（46）が激突。宮島氏は北村氏に対し、自民党内でも賛否両論がある減反政策について「維持するつもりか」と尋ねたのに対し、北村氏は「31日に自民党の政権公約が発表される。最終的にどういう公約にするか決着していないので、発表される公約で確かめてほしい」と述べるにとどまった。北村氏は、宮島氏が食料自給率の向上や経営安定などを主張したのに対し、「私の考えとあまり差異がない」として質問はしなかった。

このほか主催者側は4人に対し「護憲派か改憲派か」と質問。高木氏は「護憲派に近い」、富岡氏は「変えた方がいいが9条は堅持すべき」、北村氏は「論憲派」と回答。3人に対し、宮島氏は「護憲派か改憲派かという論調や、改正と言えば9条という問題が国民の自由闊達（かつたつ）な議論を萎縮（いしゆく）させている」として明言を避けた。



公開討論会に参加した（左から）自民の富岡氏、北村氏、民主の高木氏、宮島氏

長崎市魚の町、同市民会館

年金、農林水産業で論争

決戦
ながさき
09衆院選

1、4区の自民・民主4氏

衆院選にらみ公開討論

長崎市 年金、農業政策など論議

次期衆院選の長崎1、4区に立候補を予定している自民党と民主党の4氏による公開討論会（日本青年会議所九州地区長崎ブロック協議会主催）が28日、長崎市内で開かれ、約1カ月後に迫った衆院選をにらみ、年金問題や農業政策、景気対策

などをテーマに白熱した議論が展開された。

1区は民主前職の高木義明氏と自民前職の富岡勉氏（比例九州）が、年金問題や景気対策について論議した。

高木氏は、年金記録記載漏れ問題や低い納付率を指摘して（自民党は）

前回の参院選で年金記録問題を1年で解決すると公約しておきながら今なお解決できていない。分

かりやすく公正な制度になるよう抜本的に考え直すべきだ」と訴えた。

富岡氏は、民主党がマニフェストに掲げた「国民、厚生、共済年金の一

元化」について「三つの制度は掛け金が違うので一体化は難しい。民主党の制度では所得が多い人（の給付額）がカットされる」と聞いている。乱

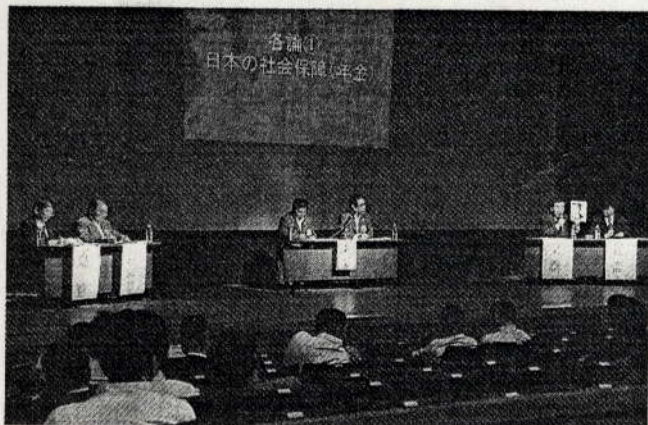
暴な発想だ」と反論した。4区は自民前職の北村誠吾氏と民主元職の宮島大典氏が、農業政策や目指す国家像について討論した。

宮島氏は減反政策について「（自民党は）圧力がかかったのか（議論が）消えてしまった感じだ。」と訴えた。

北村氏は「減反政策については党内でも大変な議論をしている。31日の政権公約発表まで待つてほしい」と回答を保留。

農業予算については「無駄の排除を目指してきた。必要な土地改良事業などは徹底的にやっていく」と訴えた。

民主党は廃止を目指していく」と主張。農業予算については「民主党は農業土木ではなく農家に金を使うことを目玉に掲げている」と強調した。



公開討論会で舌戦を展開する衆院長崎1、4区の自民（左）と民主（右）の立候補予定者

年金政策など論戦

1、4区

自民、民主
出馬予定

4氏が公開討論

09
衆院選

ながいね

政権選択が問われる
衆院選を前に、自民党
と民主党の長崎1、4
区の立候補予定者4人
による公開討論会が28
日、長崎市民会館であ
った。

日本青年会議所九州
地区長崎ブロック協議
会が主催した。1区か

ら自民前職の富岡勉氏
(61)と民主前職の高木
義明氏(63)、4区から
自民前職の北村誠吾氏
(62)と民主元職の宮島
大典氏(46)が出席。共
産は1区で、幸福実現
は1、4区で候補者擁
立を予定しているが、
主催者側が参加を自
民、民主の立候補予定
者に絞った。

市民ら約300人を

前に、社会保障(年金)
▽農林水産業▽景気対
策・経済活性化▽教育
—の各論について、
4人が討論した。

年金については、制
度が「分かりにくい」
「複雑」で認識が一致。
しかし、民主の高木氏
は「厚生、共済、国民
の3年金の一元化が必
要」と主張したのに対
し、自民の富岡氏は「そ
れぞれ掛け金が高い、
抜本的な一元化は難し
い」と反論した。

農林水産業では、自
民の北村氏が「条件が

不利な中山間地域で営
農を続ける役割を正当
に評価し、補てん・補
償を充実させるべき
だ」、民主の宮島氏は
「後継者を育てるため、
収入を安定確保させる
ことに目を向け、個別
所得補償制度を創設す
る」とそれぞれ訴えた。
減反政策では、北村氏
は「31日に政権公約が
発表され、それで確か
めて」と明言を避け
たのに対し、宮島氏
は「廃止を目指す」と
答えた。

【阿部義正】